

# 令和4年度 第1学年 授業改善推進プラン

府中市立府中第一小学校

教科	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書いているうちに文字の形が崩れたり、書き順が自己流になったりしている児童がみられる。</li> <li>・文字を読むことはできるが、言葉を一つのまとまりとして読むことができない児童がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マス黒板や書画カメラを活用し、文字の形や書き順を意識させ、正しく書けるように繰り返し指導し、書く機会を多く設定する。</li> <li>・言葉集めをして語彙を増やす。読書・音読・読み聞かせをして、言葉に慣れる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題を読んで、立式することができない児童がいる。</li> <li>・計算ができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物から図や式にすることをパターン化し、繰り返し指導していく。</li> <li>・文章問題では、キーワードに気付かせたり、具体物を示してイメージしやすくしたりする。</li> <li>・計算カードで繰り返し練習する。</li> </ul>
生活科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形を捉えて書き表すことが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色塗りをする経験を通して、見たまを写せるようにする。</li> <li>・絵や言葉で表す際の観点を提示し、全体で確認する。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拍にのってリズムを打つことに課題がある児童がいる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカのタンギングに課題がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動でリズム打ちを繰り返し練習する。</li> <li>・全体練習をスモールステップで進めたり個人練習や個人指導の時間を設けたりする。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの唄口をくわえずに、息の流れや舌の動きのみを練習する。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみやのりなど、道具の使い方がきちんと身に付いていない児童がみられる。</li> <li>・自分の思いや考えを表現しづらい児童がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具を使うたびに使い方を丁寧に指導し、児童の活動時間を十分確保する。</li> <li>・具体例を挙げて、作品作りのヒントにさせる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動、整列ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し練習する。列を意識した活動を取り入れる。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを表現しづらい児童がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見を聞き、真似するところから始め、自分の考えをもてるようにする。</li> </ul>

# 令和4年度 第2学年 授業改善推進プラン

府中市立府中第一小学校

教科	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを順序立てて文章で表すことが苦手な児童が多い。</li> <li>・書写の時間に、姿勢がきちんとできていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し文章を書く機会を設け、自分の考えを表現する力を育てる。</li> <li>・授業の初めに姿勢の確認を行う。姿勢が崩れてしまっている児童に声かけを行う。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひき算の筆算の特に繰り下がりのある筆算につまずく児童が多い。</li> <li>・普段から 30 cm定規を使っていないのもあり、長さなどの量感が正しく理解できていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り下がりの筆算の仕方をパターン化し、ドリル学習を通し、個々の確実な定着を図る。</li> <li>・授業のはじめに既習事項の確認、終わりに学習感想を書く時間を作り、個々の見取りの中で習熟を図る。</li> </ul>
生活科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のための自分の考え方をまとめられない児童がいる。</li> <li>・理科の学習につながるような経験が十分でない場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見を多く紹介することで、表現のモデルを増やす。</li> <li>・理科につながる体験や見方・考え方を把握し、それらを意図的に取り入れたり、考えさせたりするようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤ハーモニカでは、タンギングや運指につまずいている児童がいる。</li> <li>・歌唱をする際に感染症予防の工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タンギング、指くぐり、指またぎなどの方法を机間指導で個別に確認をする。</li> <li>・状況に応じて、心の中で歌ったり、少人数で歌ったりする。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対する自分のイメージをもつことが難しい児童がいる。</li> <li>・鑑賞する際に、友達の作品のよさ等、感じ取ったり考えたりして表せる児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対するイメージをもつために個人で考えるだけでなく、全体で話し合う場を設定することで、自分の感覚に自信をもたせる。</li> <li>・鑑賞の視点がもてない児童のために、具体的な書き方、見方、感じ方の例を与える。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒や縄跳びなど、運動の経験による個人差が大きい。</li> <li>・投力が低い。</li> <li>・持久力や体力の低下が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを工夫し、個の能力に応じて自分たちでも進んで取り組めるようにする。</li> <li>・投げ方の指導を計画的に行う。</li> <li>・持久走や短縄跳びの活動だけでなく、鬼遊びなどゲームを積極的に取り入れる。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを発言できなかつたり、うまくまとめられなかつたりする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だったらどう思うか、立場を置き換えながら考えられるようにハートメーターなどを使い、自分の考えをまとめさせる。</li> </ul>

# 令和4年度 第3学年 授業改善推進プラン

府中市立府中第一小学校

教科	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字テストへの意欲はあるが、日常生活での漢字を活用することに課題がある。</li> <li>文章を整理して書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字小テストの定期的な実施と共に、ノートや作文指導などにおいて既習の漢字を意識的に使うよう指導をしていく。</li> <li>はじめ、中、終わりの組み立てを意識しながら文章を作れるようワークシートを活用して文章を書く練習を繰り返し指導する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の公共施設についての知識や方向感覚などに個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した内容が実生活と結びつきやすいよう指導方法を工夫する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻と時間の概念に課題がある。</li> <li>計算問題を解くことへの意欲は高いが、問題解決の時、自分の言葉で説明することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して時刻や時間を意識できるような言葉かけを、算数の授業だけでなく日常的に継続していく。</li> <li>自分で考えて問題を解く時間を確保し、じっくり考える経験を増やす。また、手本を示すことで考えを言語化できるよう指導する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察カードを書くときに要点から外れたことを書いてしまうことがある。</li> <li>実験をしているときに、実験の見通しをもって行うことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察の視点を明確にし、それが分かるように文で表すことを指導する。</li> <li>実験をするときに、予想を立て実験の見通しをもちやすいよう意図的に指導する。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動に苦手意識をもつ児童が見られる。</li> <li>柔軟性や支持感覚、回転感覚などが乏しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた課題やめあてをもたせ、スモールステップで取り組ませる工夫をする。</li> <li>毎時間帯で柔軟性や支持感覚、回転感覚を体験できるような活動を取り入れ、習慣化させる。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをうまくまとめられずに発表することができない児童がいる。</li> <li>友達の意見をきちんと聞いていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取りしながら、ワークシートに記入をさせる。</li> <li>友達のよい意見を取り上げ、注目させる。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを図ろうとする意欲は高いが、その場かぎりの学習で終わってしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループでの言語活動を中心とした授業を組み立て、主体的に関わる活動を増やす。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロームブックの学習では、ローマ字入力に課題のある児童が多い。</li> <li>実体験ができない場面が多く、体験を学習に生かすことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロームブックに触れる機会を増やす。ローマ字入力の練習ソフトなどを活用して、ローマ字入力の練習をする機会を増やす。</li> <li>画像資料や映像資料を提示するなど、オンライン学習を取り入れ、体験を補う。</li> </ul>

# 令和4年度 第4学年 授業改善推進プラン

府中市立府中第一小学校

教科	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙量が乏しく、物語文に書かれている言葉の意味が理解できないために正確に読み取ることが難しい児童の割合が多い。</li> <li>・漢字学習に意欲をもてない児童がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語辞典を活用するとともに、タブレット端末を活用し画像や動画に触れさせ、視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・漢字の成り立ちや故事成語に触れさせ語句を関連付けるとともに、作文や新聞でも習った漢字を積極的に使えるよう助言していく。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を正しく読み取れない児童がみられる。</li> <li>・資料から読み取ったことを活用して自分の思考に生かすことが難しい児童がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフなどの資料を正しく読み取れるように、算数とも連携し、時間をかけてじっくり指導する。</li> <li>・友達との交流を通して複数の力で考えることができるよう、授業の流れを工夫する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算はできるが、場面を考えて計算を活用することができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で児童の生活に即した課題を提示することにより「解決したい」「どんなふうになればいいのか」という意欲をもてるよう教材開発に努める。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常経験が乏しく、身の回りの事象に疑問をもちづらい。</li> <li>・根拠を基にした予想を立てることが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で生活科などで体験できていないことが多いので、家庭学習などで経験をできるように保護者に呼びかけるとともに学活などの時間を通して生活経験を豊かにさせる。</li> <li>・単元の最初に既習事項を確認したり、共通体験を行ったりするようにする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動経験の積み重ねが乏しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で系統立てた指導をしていけるように年間指導計画を見直していく。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳で学んだことや考えたことを実際の生活で生かすことができない児童がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週目標や安全指導の確認のタイミングで学んだことを振り返るとともに、活動を通して思いやりの心を育てていく。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画のネイティブ発音に頼るしかなく、ネイティブな発音を指導することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を手掛かりに楽しくチャンツに取り組み、繰り返し発音することで、カタカナの発音から脱却できるようにする。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やスライドにまとめるときにインターネットの情報をそのまま使い、自分の意見を盛り込めない場面がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権に関する感覚を高めるとともに、情報を適切に取り扱い、複数の引用元をもたせることで違いを感じ取らせる。その違いを手掛かりに自分なりの考えをもてるよう助言する。</li> </ul>

# 令和4年度 第5学年 授業改善推進プラン

府中市立府中第一小学校

教科	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>送り仮名の間違が多い。</li> <li>自分の考えを論理的に書くことが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間違えやすい漢字をリストアップし、重点的に指導する。</li> <li>書くことに慣れていない。授業後に振り返りを書かせて評価したり、日記の機会を与えたりして、書くことに慣れさせる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料活用に課題がある。統計資料を読み解くことが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の資料を取り扱う時間を必ず確保し、見方・考え方を養う。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則計算が身に付いていない児童がいる。基礎基本の定着度に2極化が見られる。</li> <li>文章題からの立式が苦手な児童が多い。また、自分の考えを説明することも苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レディネステストでの見とりを丁寧に行い、習熟度別の学習の中で基礎基本の計算を計画的に行う。</li> <li>文章題の単位から立式の仕方を考えたり内容を図や表に表したりして問題場面を把握できるようにする。ノートに自分の考えを整理し、それを使って考えを説明できるようにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験結果からどのようなことが言えるのか考えたり、表現したりすることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験する目的を丁寧に確認し、結果から得られることについて考察する時間を丁寧にとる。それぞれの考察を交流させ、考えの表現の仕方の引き出しを増やす。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動技能や運動に対する意欲の差が大きい。</li> <li>課題の解決に向けて課題やコツを理解できる児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個の能力やめあてに合わせたスモールステップの場を多く設定し、意欲を高められるように工夫する。</li> <li>児童が対話する時間を設定したり、ICTを活用したりして、技能のポイントを理解できるようにする。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもつことはできるが、学習した価値を日常に照らして行動に移すことは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で、出た意見や価値を学級で共有し、学習後の生活の中で振り返りをする。道徳の授業と学校生活をつなげるよう児童の意識を高める。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題から情報を調べて整理する力は付いてきているが、そこから自分の考えを述べたり、新しい課題を見つけ出したりすることは苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べる段階、伝える段階で一度学習を整理して、考えを交流したり新しい課題を導き出したりする時間を確保する。</li> </ul>

# 令和4年度 第6学年 授業改善推進プラン

府中市立府中第一小学校

教科	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を登場人物の心情や情景、時代背景をもとに読みとることが苦手な児童がいる。</li> <li>・作文を書く力に個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語が書かれている時代背景や難解な語句の意味を解決してから物語の読みとりを行う。また、読解は、中心人物の心情の変容を考え一文にまとめるように指導する。</li> <li>・はじめ・中・終わりで作文を書けるように構成表を作り文章にできるように指導する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治や日本国憲法の学習内容と実生活の中でそれがどのように生かされているのかイメージできない児童がいる。</li> <li>・歴史の時代背景と主要人物の関係をつかめずに知識として定着できない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治や憲法を身近なものとしてとらえられるように具体的な事例を挙げて児童が考えやすいようにする。</li> <li>・相関関係を時系列から理解を促すと共に振り返り手段としてカフトやクイズを用いて楽しく知識を定着できるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題に対して、解答のみを求めがちで、過程を重視しない児童がいる。</li> <li>・分数や小数の計算を正確にできるように既習事項を振り返る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の考え方を共有する時間を十分に設ける、また、式だけではなく、数直線や図、表などを取り入れた児童を意図的に取り上げ、考えを深められるような指導を行う。</li> <li>・算数の時間の最初に5分間の計算練習タイムを設ける等、常に計算練習を行って定着を図る。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果をもとに考察を論理的に書くことに苦手意識がある。</li> <li>・学習した事と生活事象のつながりを考えられない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考察の視点を明示し、実験結果と考察をつなげるための書き方の型を示すことで考察ができるようにする。また、考察のできている児童のノートを教室に掲示することで自然に学び合えるようにする。</li> <li>・生活事象との結びつきを意図的に入れて学習を進める。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の技能差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題をスモールステップで示すことで、体育が苦手な児童も楽しく運動し、達成感を味わえるようにする。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材を通して学んだ価値を実生活に生かそうとする意識が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材で学んだことをもとに自身の生活を振り返る時間を十分確保し、道徳的実践意欲を高める。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自ら課題を見つけることができるよう、体験活動を取り入れるなどの導入の工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童からの疑問を課題に設定できるように、体験活動を取り入れる。</li> <li>・まとめる際は、例を提示する。</li> </ul>

# 令和4年度 専科 授業改善推進プラン

府中市立府中第一小学校

教科	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
算数 (5・6年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模校ゆえに個人差が大きく、既習事項の定着が不十分で活用にまで至っていない層がいる。特に基礎計算力不足は5年生で顕著で、特に小数のわり算に課題がある。</li> <li>・中間層であっても、定義や定理、解法などの説明をしたり、自分の考えをまとめて伝えたりするのが苦手である。特に、長文問題の文意を理解したり、記述式の回答を過不足なく書いたりすることは大いに苦手である。</li> <li>・図形問題に両学年ともに課題がある。作図、名称、垂直や平行の概念などの確認、定着が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・eライブラリを活用して、基礎計算に毎授業必ず取り組ませる。また、不規則に復習として既習事項をアットランダムに解かせる。</li> <li>・文章問題に触れるときには、要約をさせるようにし、文意を掴む練習を重ねる。また、ノートに自分の考えを書かせるが、それが難しい子には定型文、単語から合わせて書かせるような手立てを用意する。また、書くことが苦手な児童には写真や動画などで提出できるよう、Chromebookを積極的に活用していく。自分の考えを表明する機会を増やしていく。</li> <li>・分度器や三角定規、コンパスなどの道具の練習を、関連した単元学習前、学習中、学習後に適宜取り入れていく。慣れさせることを重視する。</li> </ul>
音楽 (3・4・5・6年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予想のための教育活動の制限から、口の開け方や声の響かせ方、呼吸法を具体的に指導できていない。</li> <li>・コロナ禍で中学年でのリコーダーの経験が少なく、タンギングや運指が定着していない。</li> <li>・表現領域では、一人一人がどのように表現するか思いや意図をもつことが大切である。</li> <li>・鑑賞では、感じ取ったことと音楽を形づくっている要素を結び付けて考え、それらを生かして曲全体を味わって聴くことを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図や動画等を活用しての発声指導を工夫する。</li> <li>・リコーダー曲は演奏範囲を減らしたり、教材を差し替えたりして実態に合った指導をしていく。</li> <li>・どのように演奏したらよいか児童に問いかけ、楽譜に書かれていること(拍子、速度、リズム、旋律、強弱など)を基に考えられるようにする学習を積み重ねる。</li> <li>・音楽を形づくっている要素の用語を掲示し、学習の中で使えるようにすると共に、音楽的な見方、考え方ができるように積み重ねていく。</li> </ul>
図工 (3・4・5・6年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表したいことに合わせ、材料・用具を選択し、作ることが定着していない児童がいる。材料を加工し、表したい内容に合わせて作り変えるという工程に課題がある。</li> <li>・絵具の濃度の調整や、パレットへの色の出し方(混色の時に大きく広げない)が定着していない児童数が一定数見られる。パレットを大きく使ってしまうことで、色彩のバリエーションが少なくなってしまう課題がある。</li> <li>・表現をする中で作品をよりよくする為に工夫を重ね、粘り強く追及する姿勢を図工の授業の中で育てたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特性、用具の特性を、参考作品を元に導入で伝える。特に立体に表す単位では、児童が思いに合わせた材料の選択ができるよう、材料の活用方法を重点的に指導する。</li> <li>・淡彩、不透明、それぞれの表現の違いを、制作する中で伝え、より思いに合った表現ができるよう支援する。絵具を使用する単位では、導入でルールを再確認する。色見本や混色表を提示し、より思いにあった色彩で表現できるよう指導する。</li> <li>・活動中、作品をよりよく発展させられるよう声掛けする。友達の意見を取り入れる為の交流の時間を設ける。様々な資料、参考作品を提示し、児童が思いを広げ表現ができるよう指導する。</li> </ul>

<p>外国語 (5・6年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席した児童自身に対する、フォローアップ。</li> <li>・児童自身が授業の中での学びを生かした、家庭での取り組み。</li> <li>・書く作業の時間差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「単語」「状況の理解」「やり取り練習」「スピーチ」という順を明確にして同じプロセスで学習を進める。</li> <li>・課題ができていない部分とできていない部分があるシートをつくり、児童が自ら学んでいけるようにする。</li> <li>・Chromebook を活用し、早く作業が終わった児童が主体的に学習できるようにする。</li> </ul>
<p>家庭科 (3・4・5・6年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理等の学習に制限があるため、家庭によって技能に二極化が見られる。</li> <li>・被服等の技能についても二極化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業で計画的に宿題を出し、家庭での過ごし方に付いても授業でフォローできるようにする。</li> <li>・ミシン等の使い方について、動画を駆使したり、学び合いで友達と協力して学ぶ環境にしたりして、技能が伝達しやすい授業計画にする。</li> </ul>